

# 川俣町民の歌

佐藤良筠 作詞

古関裕而 作曲

## 一、阿武隈の山脈高く

雲はれて  
 楓は芽ぐむ街邑に  
 若やぐ声はこだまして  
 文化のいぶきほのぼのと  
 わが町川俣 故里川俣  
 今明けてゆく

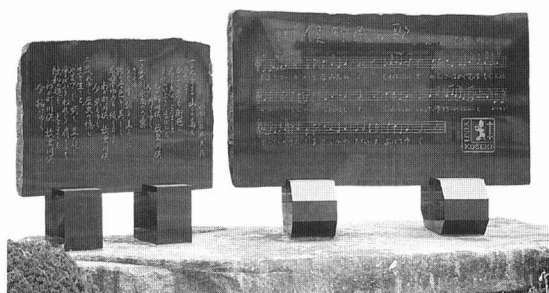
## 二、広瀬川水面のさ霧

消えゆけば  
 うぐいす謳う山あい  
 織の音色も美しく  
 希望と夢を織りなして  
 わが町川俣 故里川俣  
 今栄えゆく

## 三、流れゆく歴史の憶い

生き生きと  
 やまつつじ咲く丘の辺へ  
 呼びかうわれら肩くみて  
 融和の道をどこまでも  
 わが町川俣 故里川俣  
 今拓けゆく

あぶくまーの やまなみたかく  
 くもはれーて かえではめぐむ まちむらに  
 わかやぐこえーはこだまして  
 ぶんかのいぶきほのぼのと わが  
 まちかわまたふるさとかわまたいま



▲川俣町民の歌碑（川俣町中央公民館）